

域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 （該当に）

日 時： 令和4年10月20日（木）10時～

場 所： ほほえみ

委 員： 8人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員 (職名：しおさい施設長・管理者 リーダー2名)			4人

1. 報告事項：

(1) 利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

(小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える)

a) 登録者数及び男女比

	8月	9月
登録数（月末時点）	24名	23名
男性：女性	2：22	2：21

b) 地域

	8月	9月
仁摩町	19名	18名
温泉津	4名	4名
大森町	0名	0名
五十猛	1名	1名

c) 要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	変更申請
8月	0	0	10	7	4	2	1	0
9月	0	0	8	8	4	2	1	0

d) 年齢構成

	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上 95歳未満	95歳以上	平均年齢
8月	0	2	7	12	3	87.0歳
9月	0	1	7	12	3	87.4歳

(2) サービスの提供状況

① サービスの提供回数

a) 週当たりの平均サービス提供回数

	8月	9月
通いのべ人数/月 (平均)	394人 (12.7人/日)	387人 (12.9人/日)
宿泊のべ人数/月 (平均)	159人 (5.1人/日)	146人 (4.8人/日)
訪問のべ回数/月 (平均)	317回 (10.2人/日)	303回 (10.1人/回)
のべサービス 提供回数/月	870回	836回
のべ利用日数/月	731日	704日
登録者一人当たり の平均利用回数	一人当たり 8.33回/週	一人当たり 8.31回/週

b) 長期宿泊および過少サービスの状況

長期宿泊の方4名。週平均4回以下の過少サービス状態の方が6名おられました。長期宿泊、過少サービス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

c) 新型コロナウイルス感染症対策

項目	内容
職員、利用者のコロナ感染について	○8月に職員の家族が新型コロナウイルス感染症と判明し、職員はPCR検査を行い陰性判定。濃厚接触者となり数日間の自宅待機となる。
通い	○通常対応中。 県外から帰省者があった場合も制限なく通常利用してもらっている。帰省者に健康チェックシートの記入、毎日の検温をお願いしている。ホールのアクリルパネルの設置継続。デイサービス中のマスクの着用の声掛け、食事時の黙食の促しも継続して実施中。
泊り	○通常対応中
訪問	○通常対応中
面会制限	○体調確認して頂き、市内の感染状況を見ながら面会の可否を決めている。
人員体制	○現在職員18名。欠員なし ○新型コロナウイルス感染症による自宅療養や濃厚接触者に該当し、自宅待機となった関係で職員が出勤できない日が多々ありましたが、勤務調整をして対応することができました。
職員の対応	○自宅での検温後、体調管理アプリ「LEBER」への入力、管理者による確認。マスク着用・行動記録表作成 ○職員家族に陽性者が出て、職員が濃厚接触者に該当した場合は、職員は保健所の指示に従い、数日間の自宅待機の後、出勤とした。そして、職員のマスクはN95を使用し、感染予防に努めた。 ○職員全員に看護師よりガウンテクニックの研修を実施し、再度確認した。
業者の入館	○玄関で体温測定後に消毒、マスク着用してもらい入館
備品の状況	○マスク・消毒液・プラスチック手袋 → 備蓄あり ○予防衣・フェイスシールド → 備蓄あり ○ヘアキャップ・シューズカバー・使用した予防衣を入れるビニール袋などを新たに購入。

実習生受入	○ 9月にトリニティカレッジ出雲医療専門学校の1年生2名の実習受け入れを行った。 ○ 10月にも邇摩高校介護科の実習生を受け入れ。
面会室の設置	○ 現在洗濯干し場となっているウッドデッキ部分に面会室を設置します。9月末より取り掛かっています。

(3) しつらえ・環境作り

①室温・換気・湿度

室内温度、湿度を確認し、適宜クーラー使用。

換気 常時窓を開放し、外気温に合わせて開放量調整

現在加湿器を準備中です。

②感染症予防のための取組み（新型コロナウイルス感染症対策を含む）

毎日の管理 : 換気・手すり等消毒（3回）

空間洗浄機（次亜塩素酸水）の終日稼働

③設備・機器の整備

公用車エアコン修理・公用車点検・コピー機入れ替え・

スプリンクラー点検

④過ごしやすい空間作りの取組

8月15日	習字教室、貼り替え
8月15日	夏祭り飾り付け
8月23日	コスモス壁飾り付け
8月29日	お月見団子飾り付け
9月20日	お月見団子飾り付け

(4) 地域と職員のかかわり

①参加行事

令和4年度「認知症を知って」パネル展（仁摩図書館） 見学

②実習受入れ

トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校1年生2名、受け入れ

③民生委員・関係機関等との連携

独居生活の方の入院時に協力をお願い

(5) 利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

①利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

銀行引き出し支援	1名
行政申請	3名

③受診支援

定期受診日の予約票保管、受診促し	10回
処方薬の受領、支払い代行	10回
体調不良時の主治医への状態報告、受診手配	4回

④町内買い物代行

13名を継続支援中です。

⑤町内支払い代行

法人預り金管理規程に準じて9名からお預りし、支払いを代行しました。
購入支援の主な内容は、受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入代でした。

(6) 防災・災害対策

9月29日 夜間時間火災発生設定訓練実施

9月11日地域防災訓練…災害ボランティアセンター立ち上げ訓練参加

10月25日むつみ苑との合同防災訓練予定

(7) 質を向上するための取組

①研修（職場内外）の実施・参加

8月25日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価
9月8日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価

会議にて各利用者の支援見直しを行いました。

②介護事故の発生状況

9月7日 9時45分 デイサービス利用で来られた利用者に朝の服薬をして頂こうとお預かりしている薬を飲んでもらおうと薬が入ったトレイを確認すると、其の日の薬がなかった。前日の9月6日まで家族が都会より帰省しておられ、薬を飲ませて頂けていたが、9月6日に家族が向こうに帰られた後にヘルパー訪問を頼まれており、その際に預かり分の薬を持参し、飲んでもらってしまった。その際、薬の日にち確認を二人で行っていなかった。主治医に2日分の薬を飲んだことを相談し、経過観察の指示あり、その後体調に変化なく無事だった。

対策として

今まで服薬をする職員は他の職員一名に薬に書いてある名前、日付、いつ飲む薬かを確認していたが、2名に確認してもらうことに変更した。また、今までは目で確認していたが、声に出して確認してもらうことに変更した。

(8) 人権・プライバシーの保護

①身体拘束の有無

実施の必要性はありませんでした。

②虐待防止活動（大田市介護相談員）

現在は電話での聞き取りをされています。

③苦情相談

苦情相談はありませんでした。

2. 意見・アドバイス

○地域の方より

- ・実習生さんは何日間の研修ですか？⇒4日間です。
- ・10月に邇摩高校の実習生さんが来られたようですが、何名来られましたか。
⇒2名の予定でしたが、1名当日体調不良で休まれたので、1名でした。

休まれた生徒さんも都合のいい日が合えば再度お願いしたいと言われていました。

- ・今日現在職員さんは何名おられますか⇒18名です。

・独居の方とあるが、近くに子供さんたちがおられるのですか？

⇒ほほえみ利用中の独居の方はほとんど子供さんが県外等遠方におられるので完全に独居です。

4. 次回開催

令和4年度 第5回 令和4年12月15日（木）10時から開催します。

新型コロナウイルス感染対策の状況によって変更の可能性があります。